

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通ネットワーク計画に基づく事業）

平成26年12月25日

協議会名： 徳島市地域公共交通会議

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点（特記事項を含む）
徳島バス株式会社	川内循環線 （徳島駅～川内支所・富吉団地～徳島駅）	利用実態調査を実施し、現状把握に努めた。また、利便性向上として、2箇所の停留所にベンチを設置した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A 年間目標109,590人に対し、111,601人の利用があった。	引き続き利用実態調査や地域ニーズの把握を行うとともに、ダイヤ改正を実施し利便性向上に努める。
有限会社東丸タクシー	応神ふれあいバス ①藤田荘～応神支所～マルナカ成長店 ②藤田荘～フジグラン北島～キョーエイ北島店	利便性向上及び新規需要の掘り起こしを目的に、アンケート調査を踏まえ、運行内容を見直し、運行ルートの一部変更と停留所の変更（移設及び新設）を行った。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 年間目標5,960人に対し、4,254人の利用があった。（運行内容の見直しにより利用が増えたが、台風や積雪による運休もあり、目標を下回った。）	利用者等のニーズの把握を行い、運行ルートの延長を検討するなど、地域に密着したきめ細かなサービス向上に努める。

【各評価項目の評価基準】

④事業実施の適切性

- A…事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。
- B…事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった。
- C…事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった。

⑤目標・効果達成状況

- A…事業が計画に位置付けられた目標を達成した（する見込み）。
- B…事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった（一部達成できない見込み）。
- C…事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった（達成できない見込み）。